

年度:2020年 LOM番号:342

【褒賞申請書】

事業名称	5月例会 立て山鉾パーツ保管場所移動・使用していた場所の清掃
カテゴリー	最優秀LOM長期型地域社会開発プログラム部門

申請LOM	東北地区山形ブロック酒田青年会議所
LOMの人数	73名
理事長名	佐藤 愛
担当者名	佐藤 幸太郎
担当者携帯番号	080-6105-3930 担当者Mail sakatajc.ks@gmail.com
事務局住所	山形県酒田市緑町19-25
事務局TEL	0234-24-9192 事務局FAX 0234-22-8438

本事業の参加者	会員数	41名 参加率56.2%
	関係者数	3名
	一般参加者数	6名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>当会議所では2008年に立て山鉾を復活させて以来、山鉾文化を中心とした酒田まつり事業を実施してきました。立て山鉾の姿は地域住民に認知され、銀行のカレンダーに使用されるなど多くの方に酒田まつりの象徴として愛されてきました。しかし保管場所の利用期限が間近となり、その確保が急務となっていました。また、今年度は感染症の影響により酒田まつりの縮小が決まり、立て山鉾建設も中止が決定されました。その過程では、建設への協力の申し出が多く出るだけでなく、新たな保管場所が見つかりました。これを地域住民の立て山鉾に対する想いとして受け取り、次年度以降の酒田まつりに向けて、パーツの移動と立て山鉾の準備をする必要があります。</p>	
事業目的 400文字程度	<p>次年度以降の立て山鉾建設に向けた準備をすることを目的とします。</p>	
SDGsの該当項目	<p>11 住み続けられるまちづくりを 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する</p>	

<p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>立て山鉾は酒田JCだけのものではなく、協力をいただいている様々な方の力添えも含めて継続出来ていることを自覚し、感謝と誠実な気持ちで建設中止についてお知らせしました。また、保管場所の移動が必要であることから、パーツを含めた様々なものの移動に対して内外に協力を求め、例会としました。その上で感染症対策を万全にしてパーツ移動と保管場所の引き渡しを成し遂げました。その様子とまつり委員会メンバーを含むまつり関係者のインタビューを動画化することで、今年度の出来事を未来に残しました。また、山王祭7日間への密着取材を動画化することで、これからまつりを知るメンバーの助けになる資料を後世に残すことが出来ました。</p>	
<p><b>開催期間・タイムスケジュール</b></p>	<p>5月1日(金) 案内文送付 5月10日(日) パーツ移動 6月15日(月) 旧保管場所引き渡し</p>	
<p><b>開催場所</b></p>	<p>酒田海洋センター、助野靴下倉庫</p>	
<p><b>事業区分</b></p>	<p>継続</p>	
<p><b>公益・共益区分</b></p>	<p>公益事業</p>	
<p><b>事業総予算・収支</b></p>	<p>予算計:600,000円 支出計:843,172円 【支出内訳】 運搬費:165,000円 宣伝費:143,000円 処分費:295,900円 撮影費:214,500円 郵送費:24,772円</p>	
<p><b>協力団体</b></p>	<p>共催</p>	
<p></p>	<p>協賛</p>	
<p></p>	<p>後援</p>	
<p></p>	<p>その他</p>	<p>酒田JCOB会 酒田まつり実行委員会</p>
<p><b>事業対象者</b></p>	<p>酒田JC現役メンバー</p>	
<p><b>行動(ACTION TAKEN)</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(事業調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業伍の活動について記入)</p> <p>◇事業調査 全ての立て山鉾パーツのサイズと、新保管場所の広さを調べる。パーツは40あり、それぞれの大きさと保管場所の広さ、柱の位置を調査。</p> <p>◇立案 保管場所のパーツ配置を検討し、当日のパーツ移動計画を立てる。どの順番で搬出し、どのように搬入するか。同時に廃棄物を輸送車に載せ、時間を上手に使い午前中に終わらせられるように計画する。</p> <p>◇会議の流れ</p>	

	<p>メンバーへの参加推進、外部折衝、備品管理、参加者取りまとめ、当日の役割分担などを決め、現地を見ながら当日の動きを話し合う。</p> <p>◇実施活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は感染対策の為にマスクと消毒液を準備し、受付時に配布、手指の消毒を行ってもらおう。</li> <li>・事前に決めた人数を旧保管場所(搬出)と新保管場所(搬入)に振り分け、連絡を取りながら全パーツを移動。</li> <li>・備品の中で不要なものは欲しい人が指定の期日までに持って行く。</li> <li>・ごみの処分と掃き掃除にて、綺麗に何も無い状態にする。</li> <li>・後日、旧保管場所を引き渡す。</li> </ul> <p>◇事業後の活動</p> <p>作成した動画を確認し、発信と活用に向けて現在活動中です。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな保管場所に移動を終えました。</li> <li>・作業スペースを確保し、備品もまとめて保管しました。</li> <li>・メンバー育成に利用できる映像を作成しました。</li> <li>・パーツ移動について地域雑誌に記事を掲載し、広く周知しました。</li> </ul> <p>2. 上記の結果の想定外の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域雑誌に記事を掲載する旨を、新保管場所を提供いただいた企業様にも確認いただいた所、後日社長が酒田JCを訪問し、激励の言葉を頂きました。</li> </ul>
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>雑誌掲載を通して今後も継続して立て山鉾を建設していくことを示したことで、地域住民の皆さまに今後も酒田まつりに立て山鉾があるという安心をもたらした。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>これまで継続事業として続いてきたまつり事業は、関わり方によって知識や経験に大きな差が出てしまい、その差から来る温度差も少なからずありました。それが今回の事業により同じ立場、同じ土俵での経験を得ることで目線が合わさり、共通の体験として一体感につながりました。</p>

<p><b>事業の長期的な影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p> <p>作成した映像により、今後入会するメンバーの知識種での格差が無くなり、同じ土台のもと事業に携わることが出来るようになります。</p>
<p><b>考察や推奨</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>今年は今まで以上に行政との関わりが大きな力をもたらしました。また、地域住民や民間団体との連携が必須となる時期が来ていると感じます。これからは今まで以上にオープンな組織になり、他団体と密接な連携のもと事業を進めていくことが、未来につながる大きな力になっていくと思います。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>今回作成した映像は基本的に対内向けのものとして撮影しました。しかし、長く未来に残していくことを考えた場合、山王祭への密着映像については、より広く発信していくべきです。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協同作業</li> <li>・山王祭という歴史をピックアップ</li> </ul>
<p><b>添付資料</b></p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>

## <過去と未来の架け橋とつながる絆>

### <5月例会>

一般社団法人酒田青年会議所は2020年5月10日曜日に「<5月例会>」を<酒田海洋センター>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<5月例会>は<立て山鉾の継続>を目的として開催されました。<全てのパーツ移動を完了>という結果、目的を達成する事ができました。

#### <5月例会立て山鉾パーツ保管場所移動・使用していた場所の清掃>とは？

詳細な事業内容

期日:2020年5月10日

会場:酒田海洋センター

(事業内内容)

酒田市で411年続いてきたまつりが山王祭です。その象徴と言いき立て山鉾は、酒田JCが復活させて12年となりました。残念ながら今年は建てられませんでした。これからも象徴としてあり続ける為に、期限切れとなる現在の保管場所から新しい保管場所に移動します。

また、山王祭について知らないであろう後世のメンバーの為に、山王祭に密着した映像を残します。

